

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
牧田 俊之・首藤 孝治



牧田俊之 議員

【野生動物について】近年市街地にも出没している野生動物「エゾシカ」「キタキツネ」について現状を確認するとともに、「エゾシカ」に関しては北海道への捕獲事業の働き掛けをお願いし「キタキツネ」に関しては、ゴルフ場など観光客などが多く訪れる場所への「エサやり防止」の啓発掲示物の配布などを求めました。

【産業の競争力強化について】職場環境改善事業の30年度への取り組みについて確認し「バリヤフリーなど環境整備」「女性の復職」などの支援をしたいと回答がありました。経済産業省「ものづくり補助金」採択実績が他市に比べて低いこと。「地域産業資源」指定品目にハスカップやほっつき貝が少ないことを指摘し改善に向けて取り組むむねの回答がありました。

【小中一貫教育について・コミュニティスクールについて】北海道内の先進地浦幌町の取り組みと苫小牧市の取り組みを比較し導入について質問、モデル地区指定などさまざまな

観点で検討を進めている段階と回答がありました。

首藤 孝治 議員

【中心市街地活性化対策について】エガオビル跡地の今後について議論し、市民が集う憩いの場所やさまざまなイベントの開催などに適した場所が必要であると考え、屋根付き広場の設置を提案しました。また中心市街地に交流人口を増やす目的で東西幹線道路のみ運行する夜間運行バスと「とまチョップポイント」をタクシーに利用できるよう提案し、今後検討するとの答弁がありました。

【サテライトキャンパス誘致について】行政機関に専用部署の設置を求め、取り組みを加速させるように要望し、総合政策部と産業経済部の連携で対応するとの答弁がありました。

【公共施設の建替えについて】今後相次ぐ老朽化した公共施設の建替えに合わせ、点在する施設を線で結ぶ



取り組みを進め、施設更新時には、すべてを公で賄わず、PPP方式（公民連携）を活用し税負担を軽減するよう強く要望しました。



越川慶一 議員

【統合型リゾート】平成29年7月にIR推進会議で取りまとめられたIR制度の考え方や枠組み、カジノ規制のあり方や懸念事項の対応、刑法における違法性の阻却などの概要を確認したうえで、IR区域の定義と施設の地理的一体性や区域認定の申請主体、国のギャンブル依存症対策などについて議論するとともに、北海道の動向及び苫小牧市の取り組みについて議論しました。

【勇の原公園予定地の整備】人口減少時代における公園整備のあり方については、検討課題である一方、市内には未整備の公園予定地が多数存在している状況にあり、人口動向を見極めた上で整備することになっています。その中で、ウトナイ地区については、住宅建設や宅地造成が進み、今後も人口増加が見込まれるた

め、ウトナイ北1丁目にある勇の原公園予定地の整備計画策定に向け議論を行い、「多くの利用者に活用される公園を目指し、できるだけ早く計画を策定したい」との答弁がありました。

松井 雅宏 議員

【文教経済委員会】において「平成28年度教育委員会点検・評価報告書」で28年度取り組んだ教育委員会の42事業の評価のあり方について取り上げ、手段・手法の評価に留まっている事業も散見され、導き出された結果に対して評価することを求めました。また、東小学校及び苫小牧東中学校改築計画（案）について、敷地南側に建設する意図とメリット、習熟度別授業に利用する多目的教室の配置、市内初の小中併設校としてのコミュニティスクール導入の検討、新校舎の地域に開かれた学校づくりの考えについて質しました。

